

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	689	710	百日咳	2	1
RSウイルス感染症	8	15	ヘルパンギーナ	10	8
咽頭結膜熱	19	24	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	116	68
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	53	82	急性出血性結膜炎	1	0
感染性胃腸炎	662	820	流行性角結膜炎 (はやり目)	16	8
水痘	126	110	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	2	1	無菌性髄膜炎	1	3
伝染性紅斑 (りんご病)	27	30	マイコプラズマ肺炎	1	0
突発性発しん	36	33	クラミジア肺炎	2	0

インフルエンザ
報告が多い
感染症

感染性胃腸炎

水痘

- インフルエンザは、報告数 689 件(前週報告数 710 件)と減少。
地区別では、人吉、八代、菊池に多く報告がみられる。
年齢別では、10～14歳の167件を最多に、幅広い年齢層からの報告である。
- 感染性胃腸炎は、報告数 662 件(前週報告数 820 件)と減少。
地区別では、菊池、山鹿、天草に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の127件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 水痘は、報告数 126 件(前週報告数 110 件)と増加。
地区別では、水保、人吉、山鹿に報告が多くみられる。
年齢別では、3歳の32件を最多に、9歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミ ジア肺炎
熊本市保健所	280	1	5	31	223	31	1	14	15			43	1	15		1		2
山鹿保健所	1				48	9		1	3			7	*	*				
菊池保健所	85	1	5	5	97	14		2	8		4	11		1				
阿蘇保健所	4			1	3	4							*	*				
御船保健所	24				5					1			*	*				
八代保健所	88		2	2	52	15		1	2			15						
水保保健所	19	1	3	1	2	12						1	*	*				
人吉保健所	90	4	2	2	53	15				1		15	*	*				
有明保健所	17			3	58	6	1	3	2			10						1
宇城保健所	64	1	1	4	44	12		6			1	11						
天草保健所	17		1	4	77	8			6		5	3						
計	689	8	19	53	662	126	2	27	36	2	10	116	1	16	0	1	1	2

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	
インフルエンザ	689	1	2	16	31	45	44	55	79	54	49	50	167	14	20	26	16	4	6	5	5	
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上							
RSウイルス感染症	8	1	4	1			1					1										
咽頭結膜熱	19		4	6	2	2	1	1	2		1											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53			2	2	6	10	4	8	4	4	4	6		3							
感染性胃腸炎	662	12	67	127	84	86	53	35	49	36	24	16	30	6	37							
水痘	126	4	10	28	23	32	10	6	8	2	2	1										
手足口病	2			1	1																	
伝染性紅斑	27			1	2	4	7	3	8	1			1									
突発性発しん	36		24	9	2	1																
百日咳	2													1	1							
ヘルパンギーナ	10			2	1	3		1	2	1												
流行性耳下腺炎	116		1	7	7	24	16	23	18	7	3	4	6									
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	1												1									
流行性角結膜炎	16					2									4	7	2			1		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1			1																		
マイコプラズマ肺炎	1			1																		
クラミジア肺炎	2		1	1																		

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- インフルエンザ : 八代
- 流行性耳下腺炎 : 宇城
- 感染性胃腸炎 : 山鹿・菊池・八代・人吉・宇城・天草
- 伝染性紅斑 : 宇城

流行性
耳下腺炎
(おたふくかぜ)

昨年後半から、例年より高い水準で推移しており、今週は先週と比べて大幅に増加しています。特に人吉、八代、宇城、山鹿地域で多く報告されています。感染すると2～3週間の潜伏期間を経て、片側あるいは両側の唾液腺(耳の下あたりの腫れ、痛み、発熱を主な症状として発病します。合併症を引き起こす場合もあり注意が必要です。患者のせきやくしゃみなどからの飛沫により感染します。手洗い・うがいの励行や患者との接触を控える等予防に努めてください。

インフルエンザ



今週のインフルエンザ報告数は、先週よりやや減少しました。しかし、阿蘇、御船、人吉、宇城の4地域では、先週より報告数が増えています。熊本、菊池、人吉、宇城地域が注意レベル、八代地域は未だ警報レベルにあります。なお、迅速キットによる診断情報は、670件中、A型149件、B型520件、型不明1件でした。今後も発生状況に注意し、手洗い・うがいの励行、咳エチケットを守る等、感染防止に努めましょう。

